

国立歴史民俗博物館友の会主催

館長特別講演会

歴史を疾走するネコ

人との不思議な長い共生の物語

非会員の方も
ご聴講いただけます

町 B 遺跡出土ネコ頭型土製品（郡山市教育委員会提供）

2026 年 2 月 22 日 13:30~15:30（13 時開場）

国立歴史民俗博物館講堂（当日先着 240 名 / 事前申込不要）

聴講無料

国立歴史民俗博物館友の会主催
館長特別講演会

歴史を疾走するネコ

－人との不思議な長い共生の物語－

2026年2月22日（日）
13：30～15：30（13時開場）

国立歴史民俗博物館講堂（申込不要 / 当日先着 240 名）

前回の講演では、「ネコはいつからかわいくなったのか－ブタとイヌの友達になれなかった動物の物語－
というテーマで、歴博の先史・古代展示室から現代展示室までをめぐりながら、ネコのお不思議な歴史
を考えました。

ネコは、ネズミを狩ることから人間との関係を始めましたが、時に神として崇められ、時
に摩訶不思議な存在として恐れられ、さらには化け猫として語られた時代もありました。
そして今、日本のペット文化は大きな転換期を迎え、ネコとイヌの飼育数が逆転
しようとしています。人間のネコに対する付き合い方は、なぜこれほど劇的に
変化してきたのでしょうか。

今回の講演では、七変化するネコと人間の歴史を、
日本各地でのフィールド調査も紹介しながら、
あらためて考えてみたいと思います。



対馬ヤマネコ



福島県西郷村 雲岡杵築神社の猫神様



長野県更埴市霊浄山講社 猫仏



長野県更埴市霊浄山講社 猫仏



講師：西谷 大
（国立歴史民俗博物館館長）



福島県福島市信夫山 西坂稻荷神社 猫と狐が一緒に！

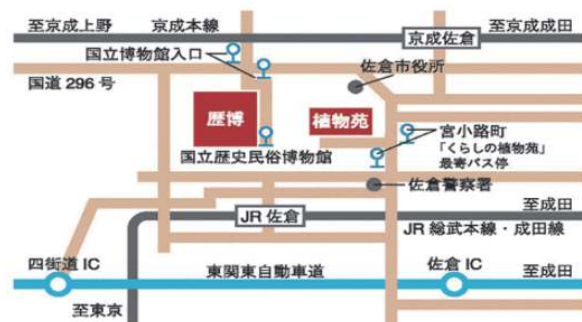
【お問合せ先】

一般財団法人歴史民俗博物館振興会
（国立歴史民俗博物館友の会事務局）

〒285-0017 千葉県佐倉市城内町 117
043-486-8011（平日 9：00～17：00）



歴博友の会 HP



【京成電鉄ご利用の場合】京成佐倉駅下車、バス約 5 分。徒歩約 15 分。

【JR 東日本ご利用の場合】総武本線佐倉駅下車、バス約 15 分。

【自動車ご利用の場合】東関東自動車道、四街道 IC または佐倉 IC から約 15 分
（大駐車場完備）